

松江地区路線バスデータ分析システム導入業務仕様書

I. 導入目的

本業務は、既に導入済みの交通系 IC カードシステムの利用実績データをはじめとする、各種データを集計、統合し、可視化や分析することにより、今後の路線計画、運賃計画を立案する際に、重要な基礎データとし活用することを目的とする。

II. 導入を予定する運行事業者

一畑バス株式会社、松江市交通局

III. 導入期限

令和6年1月31日までとする。ただし、発注者からデータ可視化に関する画面イメージ、運用試験等についての要請があった場合は、可能な限り対応すること。

IV. システムの概要

1. 定義

下記の概要により要求する機能は必要最小限の機能であり、その他については提案事項とする。

2. 要求機能

(1) 利用状況分析機能

『ICOCA システム』の1件明細データ（以下、「1件明細」とする）、バスロケーションシステム運行実績、GTFS データの整理・統合を行い、以下の機能を有するものとする。

ア 乗降データ実績を任意の期間（年、月、日、曜日別、時間帯別等）及び路線、系統、便単位で集計し、分析できること。

イ 分析データは、数値データや地図上に表示するなど可視化が可能であること。

(2) 特定実績抽出機能

『ICOCA システム』の1件明細データ実績をもとに、各種精算の根拠となる実績データを抽出し、以下の機能を有するものとする。

ア 1件明細中の「高齢者優待 ICOCA」の利用実績を複数条件から抽出できること。

イ 1件明細中の「障がい者優待 ICOCA(仮称)」の利用実績を複数条件から抽出できること。

ウ 本業務導入事業者間で実施している「共通定期券」の各社実績を抽出できること。

(3) 保守・サポート機能

ア 導入当初に操作マニュアルを作成し、必要に応じて操作説明会（オンライン可）を開催するなど、サポートをすること。

イ 各種データの連携については、データ提供者と協力のうえ、必要な仕組みを構築すること。

3. システムの提供・構成機器

(1) サービスの提供方法

①Software as a Service(SaaS)または、Application Service Provider (ASP) サービスを利用したセンターシステムとすること。

②本システム導入に当たり、既存のパソコンを使用するものとし、特段のハード機器導入が不要であること。

③国土交通省の公共交通 DX 化に関する補助金の交付要件を満たす仕様であること。

(2) センターサーバ

①サーバは、システム事業者が用意するサーバとするか、外部（商用）インターネット・データ・センターに配置すること。

(3) データ抽出

①本システムに必要なデータのアップロードに関して、既存のデータをそのまま活用できるものとし、データ変換等の作業が不要であること。

4. 制約事項

(1) データ取扱い上の条件等

①可視化したデータは、事業者が特段の制約なく無償で利用可能であること。

②1件明細等 IC カードデータについては、発注者の指示に基づき、その取り扱いや秘密保持について十分に注意すること。

(2) アカウント数

①各社とも可視化したデータを閲覧するためのアカウント数を2アカウント以上提供することとし、分析担当者がカスタム可能なより高度な権限を有するアカウントを最低1アカウント提供すること。ただし、閲覧と分析が同様の権限でできる場合はこの限りではない。

5. 費用

(1) 本システムの導入に関するパソコン等のバージョンアップ及び Windows 等の関連機器のバージョンアップへの対応費用は受注者の負担とすること。

(2) 提案額には仕様を満たすための、システム設計、分析基盤の構築及び業務遂行にかかる調査・工事及び申請費用一切を含むものとする。